

動物看護総合学科(旧)(シラバス)

所属教科(授業科目)	学習目標	授業内容	時間数	期間	授業回数	授業方法	担当教員	実務経験の概要
動物内科看護学実習	獣医療において、修得した知識の実践力を身につける	犬や猫の日常的な健康管理や内科診療に必要な手技など、動物内科看護学で学んだ知識の実践力を修得する	1年次 90	通期	1年次 45回	実習	大野・石橋・羽生・板垣・吉田・田中・小林・柳井・西尾・中井	全担当教員が動物病院での勤務(臨床)経験有り。
動物臨床検査学実習	獣医療において、修得した知識の実践力を身につける	検体検査および生体検査に必要な手技や機器の扱い方など、動物臨床検査学で学んだ知識の実践力を修得する	1年次 30 2年次 60 合計 90	1年次 通期 2年次 通期	1年次 15回 2年次 30回 合計 45回	実習	吉田・中塚・藤井 田中・廣森・小林・石橋・早川	全担当教員が動物病院での勤務(臨床)経験有り。
動物外科看護学実習	獣医療において、修得した知識の実践力を身につける	外科診療の補助に必要な基礎知識を学び、術前準備から術中補助、術後管理までの流れを系統的に理解し、安全な手術の実施に必要な知識を修得する	2年次 90	通期	2年次 45回	実習	谷口・中村・羽生・板垣・早川・小林・廣森	全担当教員が動物病院での勤務(臨床)経験有り。
診療補助	①医療面接のスキルアップを行い、飼い主様や動物、ひいては他者の心情をくみ取れるようになる ②公的文書ともなるカルテの内容を熟知し、カルテ用語や記載内容の理解を深める	動物病院業務のなかでも診療において動物看護師が担うことのあるカルテ作成における医療面接やカルテ記載、診療業務の事前準備や医療安全を取り上げて理解を深める	3年次 30	前期	3年次 15回	講義	羽生・早川	全担当教員が動物病院での勤務(臨床)経験有り。
検査技術	①検査項目に応じた正しい検体処理及び保存、取り扱いが確実にできる ②検査の意義解釈から検査結果を正しく記入し、動物看護師としての評価と異常を獣医師に確実に報告できる	基本知識と技術を確実に身に付け、臨床現場に役立つアドバンスを学ぶ。	3年次 60	通期	3年次 30回	講義	石橋・風間・風間	全担当教員が動物病院での勤務(臨床)経験有り。

学修成果については次のように評価をしている。

- ・出席状況、レポート等、実技試験、筆記試験等を評価内容としている。
- ・成績評価は評価内容を評点化し、評点により「優」「良」「可」「不可」と評価し、「可」以上を合格としている。
- ・次の①と②の基準を満たす場合に認定する。
 - ①成績評価が「可」以上
 - ②出席率が75%以上